安全データシート

国際連合GHSに拠る

NATURAL BETA-CARYOPHYLLENE

1 化学品及び会社情報

1.1 製品識別名

NATURAL BETA-CARYOPHYLLENE

CAS番号: 87-44-5

1.2. 物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途

用途

以下の製造：エアケア製品 – 香水、フレグランス – 医薬品 – 化粧品、パーソナルケア用品 – 香料 – その他

1.3. 安全データシート作成者の詳細

会社名称: Axxence Aromatic GmbH
街路名: Tackenweide 28
住所: D-46446 Emmerich am Rhein
電話番号: + 49 2822 68561 0 ＦＡＸ番号: + 49 2822 68561 39
電子メール: info@axxence.com
担当者: Safety Team 電話番号: + 49 2822 68561 0
電子メール: safety-documentation@axxence.com
インターネット: www.axxence.de
担当部門: Safety Management

1.4. 警察署・消防署への非常通話番号:

+49 2822 68561 99

2 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

国際連合GHS (ST/SG/AC.10/11/Rev.10)

呼吸器感作性又は皮膚感作性: 皮膚感作性 1

誤えん有害性: 誤えん有害性1

2.2. ラベル要素

国際連合GHS (ST/SG/AC.10/11/Rev.10)

ラベル表示の危険成分

NATURAL BETA-CARYOPHYLLENE

注意喚起語: 危険

危険有害絵文字:

危険有害性情報

H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

危険の予防

P261	粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280	保護手袋 / 防護衣 / 保護眼鏡 / 保護面 / 防音保護具 / を着用すること。
P301+P316	飲み込んだ場合： 直ちに医師の診断を受けること。
P331	無理に吐かせないこと。
P302+P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333+P317	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合： 医師の診断を受けること。

P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。
P405	施錠して保管すること。
P501	内容物 / 容器を有機廃棄物に廃棄すること。

2.3. 他の危険有害性

Contains no substances of very high concern (SVHC) which are included in the Candidate List according to Article 59 of REACH. Contains no substances of very high concern (SVHC) which are subject to authorisation according to Annex XIV of REACH.

3 組成及び成分情報

3.2. 混合物

合計化学式:	204,36
分子量:	C15 H24 g/モル

関連成分

CAS番号	化学名	数量
	分類 (国際連合GHS (ST/SG/AC.10/11/Rev.10))	
87-44-5	NATURAL BETA-CARYOPHYLLENE	89-100 %
	Skin Sens. 1B, Asp. Tox. 1; H317 H304	
6753-98-6	alpha-HUMULENE	0 - 15 %
4630-07-3	NATURAL VALENCENE	0 - 6 %
	Asp. Tox. 1; H304	

4 応急措置

4.1. 応急処置の説明

吸入した場合

新鮮な空気を入れること。

皮膚に付着した場合

皮膚に触れた場合、直ちに多量の水 かつ せっけんで洗い流すこと。 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。 医師の処置を必要とする。

目に入った場合

直ちに洗眼用シャワーまたは水で、注意深く念入りに洗い流すこと。 眼の刺激があれば眼科医にかかること。

飲み込んだ場合

嘔吐したら、吸入しないよう注意すること。 飲み込んだ場合は口を多量の水ですすぎ (被災者の意識がある場合のみ) 、直ちに医師の手当てを受けること。

4.2. 急性および遅発性の最も重要な症状および影響

情報は何もない。

4.3. 必要な緊急の医療処置および特別な治療の指示

症状に応じて処置すること。

5 火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤

消火対策を、周辺地域に適合するよう調整すること。

5.2. 物質または混合物特有の危険有害性

発火性ではない。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

5.3. 消防士のための事前注意事項

自給式呼吸器具及び化学防護服を着用すること。 全身防護服。

追加の指摘

危険区域では、従事者の保護と容器冷却のため、水を霧状に噴射すること。 ガス/蒸気/霧は、水を霧状に噴射して沈降させること。 汚染された消火用水は、分別して回収すること。 排水管や自然水系に流入させないこと。

6 漏出時の措置

6.1. 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

全般的な注意事項

十分に換気をすること。 ガス/煙/蒸気/エーロゾルを吸い込まないこと。 皮膚、眼、衣服との接触を避けること。 個人用の保護具を使用すること。

6.2. 環境に対する予防措置

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。

6.3. 封じ込めおよび浄化方法と機材

浄化にあたって

液体を凝固させる材質 (砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤) を用いて、取り除くこと。 その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。

その他参考となる事項

液体を凝固させる材質 (砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤) を用いて、取り除くこと。 その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。

6.4. 他のセクションを参照

安全取扱い: 参照箇所 節 7
個人用保護具: 参照箇所 節 8
廃棄物処理: 参照箇所 節 13

7 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱のための予防措置

安全取り扱い注意事項

包装していない製品を取り扱う際は、局所吸引を備えた装置を使用しなければならない。 ガス/煙/蒸気/エーロゾルを吸い込まないこと。

火災および爆発防護に関するアドバイス

特別な防火対策は、必要ではない。

一般的な産業衛生に関する注意事項

汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。 皮膚を保護するための計画を作成し、遵守すること！ 休憩前や就業後は、手と顔を念入りに洗うこと、必要であればシャワーを浴びること。 職場では、飲食、喫煙、鼻をかむことはしないこと。 汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。 皮膚を保護するための計画を作成し、遵守すること！ 休憩前や就業後は、手と顔を念入りに洗うこと、必要であればシャワーを浴びること。 職場では、飲食、喫煙、鼻をかむことはしないこと。

7.2. 配合禁忌等、安全な保管条件

倉庫と容器の需要

容器は、密閉した状態を保つこと。 鍵をかけて保管すること。 資格者のみが立ち入ることのできる場所に貯蔵すること。 高濃度の箇所では、十分な換気と局所排気を行うこと。

共同貯蔵に関する注意事項

特別な予防措置は必要ではない。

8 ばく露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

8.2. 曝露防止

適切な工学的制御

包装していない製品を取り扱う際は、局所吸引を備えた装置を使用しなければならない。 ガス/煙/蒸気/エーロゾルを吸い込まないこと。

保護・衛生対策

眼/顔面用の保護具

保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

手の保護具

化学物質を取り扱う際には、4桁の検査番号を含むCE表示のついた化学物質用保護手袋に限り、着用しなければならない。 化学物質用保護手袋は、職場で扱う危険物質の濃度や量に応じて、適したものを選ばなければならない。 前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。

皮膚の保護

防護衣料の使用。

呼吸器の保護

換気が不十分な場合呼吸用保護具を着用すること。

9 物理的及び化学的性質

9.1. 基礎物理および化学特性の情報

物質の状態:	液体の
色:	無色～淡黄色
臭い:	特異臭
融点/融解範囲:	~-100°C °C
沸点また初留沸点及び沸騰範囲:	258 °C
引火性:	非該当
	非該当
爆発下限:	確定されていない
爆発上限:	確定されていない
引火点:	>100 °C
発火点:	215 °C
分解温度:	確定されていない
pH値:	確定されていない
水溶性:	物質は水に不溶性であることが知られているので、試験を実施する必要はない。

溶媒に対する溶解性

確定されていない

n-オクタノール/水分配係数:	確定されていない
蒸気圧: (で 20 °C)	0,06 hPa

蒸気圧: (で 50 °C)	0,45 hPa
密度 (で 20 °C):	0,90 g/cm³
相対蒸気密度:	確定されていない

9.2. その他の情報

物理化学的危険性クラスに関する情報

爆発特性

その製品は、 (で) ない: 爆発の危険がある。しない 爆発の危険がある に従って EU A.14

酸化特性

その製品は、 (で) ない: 助燃性。

その他の安全性特性

蒸発速度:	確定されていない
溶剤の成分:	0%
固形分濃度:	0%

10 安定性及び反応性

10.1. 反応性

規定に従って取扱い及び貯蔵される場合、有害反応はない。

10.2. 化学的安定性

本製品を通常の常温で保管すると安定である。

10.3. 危険有害反応性の可能性

知られた有害反応はない。

10.4. 避けるべき条件

なし

10.5. 不適合物質

情報は何もない。

10.6. 危険有害性のある分解生成物

既に知られた有害分解製品はない。

11 有害性情報

毒性情報

急性毒性

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

ATEmix 算出した

急性毒性の推定 (経口の) > 5000 mg/kg; 急性毒性の推定 (皮膚の) > 5000 mg/kg; 急性毒性の推定 (吸い込んで蒸気) > 50 mg/l; 急性毒性の推定 (吸い込んで 塵/ミスト) > 12.5 mg/l

CAS番号	化学名				
	曝露の経路	投与量	種	源泉、出典	方法
87-44-5	NATURAL BETA-CARYOPHYLLENE				
	経口の	LD50(50%致死量) >5000 mg/kg	マウス	REACH registration	
4630-07-3	NATURAL VALENCENE				
	経口の	LD50(50%致死量) >5000 mg/kg	ラット		
	皮膚の	LD50(50%致死量) >5000 mg/kg	イエウサギ		

刺激性及び腐食性

皮膚腐食性/刺激性: 入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

感作性影響

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 (NATURAL BETA-CARYOPHYLLENE)

生殖における発ガン性/変異原性/有毒性の影響

生殖細胞変異原性: 入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

発がん性: 入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

生殖毒性: 入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

特定標的臓器毒性（単回暴露）

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

特定標的臓器毒性（反復暴露）

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

吸引性呼吸器有害性

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

11.2. その他の危険有害性に関する情報

内分泌かく乱特性

情報は何もない。

詳しい情報

この混合物はEC指令No 1272/2008 [CLP]において、危険性を有すると評価される。 火災時の特有な危険有害性!

12 環境影響情報

12.1. 毒性

その製品は、（で）ない: 生態毒性。

12.2. 残留性と分解性

その製品は、検査されなかった。

CAS番号	化学名			
	方法	価値	d	源泉、出典
	評価			
87-44-5	NATURAL BETA-CARYOPHYLLENE			
	OECD 310	56%	28	REACH registration
	生物学的に分解しやすい（ＯＥＣＤの基準に拠る）。			
	OECD 310	54%	7	REACH registration
	生物学的に分解しやすい（ＯＥＣＤの基準に拠る）。			
	OECD 310	3,2%	3	REACH registration
	生物学的に分解しやすい（ＯＥＣＤの基準に拠る）。			

12.3. 生物蓄積性

その製品は、検査されなかった。

n-オクタノール / 水分配係数

CAS番号	化学名	Log Pow
87-44-5	NATURAL BETA-CARYOPHYLLENE	6,23
6753-98-6	alpha-HUMULENE	6,592
4630-07-3	NATURAL VALENCENE	6,494

12.4. 土壌中の移動度

その製品は、検査されなかった。

12.7. その他の有害な影響

情報は何もない。

詳しい情報

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。 地下/土壌に至らせてはならない。

13 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

廃棄の勧告

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。 地下/土壌に至らせてはならない。 廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

汚染した包装

指令2008/98/EC（廃棄物枠組み指令）による有害廃棄物 汚染された包装は、物質そのものと同様に扱うこと。

14 輸送上の注意

海上輸送 (IMDG)

14.1. UN番号またはID番号: 輸送に関する法規制の定義上の危険物に該当しない。

14.2. 正式の国連輸送名: 輸送に関する法規制の定義上の危険物に該当しない。

14.3. 輸送における危険有害性クラス: 輸送に関する法規制の定義上の危険物に該当しない。

空輸 (ICAO-TI/IATA-DGR)

14.1. UN番号またはID番号: 輸送に関する法規制の定義上の危険物に該当しない。

14.2. 正式の国連輸送名: 輸送に関する法規制の定義上の危険物に該当しない。

14.3. 輸送における危険有害性クラス: 輸送に関する法規制の定義上の危険物に該当しない。

14.5. 環境危険有害性

環境に有害である: いいえ

14.6. 使用者のための特別な予防措置

情報は何もない。

14.7. MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

非該当

15 適用法令

国内規定情報

従業制限:	若年層への従業制限に注意する。
皮膚吸収/感作:	アレルギー性過敏反応を起こします。

16 その他の情報

変更

このデータシートは次の項目の以前のバージョンからの変更を含んでいる： 1,2,4,6,7,9,11,14,15,16.

略称と頭字語の説明

ADR: Accord européen sur le transport des marchandises dangereuses par Route
(European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)
IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods
IATA: International Air Transport Association
GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals
EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances
ELINCS: European List of Notified Chemical Substances
CAS: Chemical Abstracts Service
LC50: Lethal concentration, 50%
LD50: Lethal dose, 50%
CLP: Classification, labelling and Packaging
REACH: Registration, Evaluation and Authorization of Chemicals
GHS: Globally Harmonised System of Classification, Labelling and Packaging of Chemicals
UN: United Nations
DNEL: Derived No Effect Level
DMEL: Derived Minimal Effect Level
PNEC: Predicted No Effect Concentration
ATE: Acute toxicity estimate
LL50: Lethal loading, 50%
EL50: Effect loading, 50%
EC50: Effective Concentration 50%
ErC50: Effective Concentration 50%, growth rate
NOEC: No Observed Effect Concentration
BCF: Bio-concentration factor
PBT: persistent, bioaccumulative, toxic
vPvB: very persistent, very bioaccumulative
RID: Regulations concerning the international carriage of dangerous goods by rail
ADN: European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Inland Waterways
(Accord européen relatif au transport international des marchandises dangereuses par voies de navigation intérieures)
EmS: Emergency Schedules
MFAG: Medical First Aid Guide
ICAO: International Civil Aviation Organization
MARPOL: International Convention for the Prevention of Marine Pollution from Ships
IBC: Intermediate Bulk Container
VOC: Volatile Organic Compounds
SVHC: Substance of Very High Concern
略語および頭字語については、http://abbrev.esdscom.eu の表を参照
略語と頭字語に対しては、ECHAの情報要件及び化学品安全性評価ガイダンスの第20章(用語と略語の表)を参照すること。

(危険成分に関するデータは、事前供給者からの最新の安全データシートから取得されました) 。